

やつおもて

第17号 (2017年11月)
編集発行：和田公民館
協力：公民館運営推進委員
電話：(45-1918)
eメール：wada-k@ph-hamada.jp

～和田地区いろいろ見て歩く記～

あ～きのゆうひに～
てるやま～もみじ～



こ～いもうすい～も
かずあるなかに～



今年の秋は雨が多いような気がするのは私だけでしょうか？この時期は一雨ごとに寒くなり寒がりの私はちょっと残念な思いです。これから迎える冬の準備を始めなければ・・皆さんはこの時期どんな楽しみ方をされているのでしょうか？（つぬ）

【和田の歴史コーナー】 和田地区の神社紹介③です。

《和田の大元神社》・・2社あり、共に八幡宮に合併されているが、それぞれの社地に祠がある。

【大石谷の大元神社】

- ◆祭神・・国常立尊（クニノトコタチノミコト）、イザナギ命、イザナミ命
- ◆由緒・・1733年社殿破壊し、神体が雨露に濡れるというので再建している。
1751年12月不意に社殿が焼失したので翌年再建。1823年4月社殿の吹き替え。1867年和田八幡宮に合併。

【土居大元神社】

- ◆祭神・・国常立尊（クニノトコタチノミコト）
- ◆創建・・1244年福屋某が宮社を建立。
- ◆由緒・・和田八幡宮にある1731年9月15日再建の棟札によると1244年福屋某が宮社を建立したとあり、福屋氏滅亡後毛利氏、吉川元春、広家の崇高が厚かったとしている。
1857年3月屋根葺き替え。この宮は、もと尼御前山の麓、湯船峠にあったのを、竹の尻（竹本宅）の上に祠を建て移したのだという。



《愛宕神社》



和田八幡宮の奥、右側の社が愛宕さんです

- ◆鎮座地・・和田八幡宮境内
- ◆祭神・・伊邪那美神（イザナミ）、加具土神（カグツチ）
- ◆由緒・・1242年福屋兼広が、弟山根好兼を山城国につかわして、和田村の岩崎山清滝の上に勧請したのだという。（和田山根家家系譜の略記）
明治42年9月和田八幡宮社地内に遷座した。昔から「和田の愛宕さん」として知られており、「火伏せの神さん」として信仰されている。神体は、乗馬姿という。祭日は春秋2回であるが、春祭りの4月26日にわずかも雨の降らぬ年には、火災が多いといわれていたという。

（旭町誌上巻より抜粋）

あなたの手 小さな手でも 救いの手

続いては和田地区に伝わる伝説のコーナーです



猪子山地蔵のカッパ

～後編～

今回は、「いたずらかッパ」が農家の女房に見つかってしまったというお話でしたね。さあ、このカッパはどうなるのでしょうか！

その二人（農家の亭主と女房）がちょうど猪子山地蔵の前で鉢合わせになった。この「エロカッパ、離れろ！」男は鎌を振り上げた。そして、その鎌で一回、二回とカッパをしばきあげた。「ギャー！！」カッパは声を上げて頭を押さえた。



女房は「あんた、地蔵さんの前で殺生はやめて下さい」と訴える。カッパも「地蔵さん助けてー、もお悪いことはしません！」と手を合わせて平謝り。そうしてカッパは頭を押さえ川の方へ山を下って行った。男はつくづく女房の顔をのぞき込み「お前、変わった

ことはないか？」と女房に聞く。「何よ、それ。何もないわよ？」

それでも男は「何もなかったんだな」と念を押す。（実はカッパは女に憑くということが知られている）「カッパに憑かれると女は誰彼なしにいやらしくなって男に媚びるようになると聞いたもんだからなあ。もっともカッパも人を見るんかもしれんが、良かった、良かった！」「何よ、それ」と女は不満顔だが、男は「やれ、やれ」と胸をなでおろすのでした。

この猪子山地蔵は、現在の旭小学校の裏山にあり道路から見える。

（文・絵 佐々岡健次）



昔、カッパはいたる所に居たのに、今はそんな話聞いた事ないし・・・絶滅危惧種だったのよ。



ことわざ編だよ！

善は急げ

良いと思ったことは機会を逃さずすぐに実行したほうがよい。



今度、〇〇のコンサートに行きたいな

知っておもしろミニ知識

いいね。善は急いで、チケットを予約しよう。



ベンソン陽子の海外便り 第5回



アメリカの夏休み



アメリカではほとんどの州で夏休みが5月から始まります。

ベンソン家も5月末から夏休みに入り、8月の第2週目まで休みとなります。



「シックスフラッグスハリケーンハーバー」という名前のウォーターパークです。

この長い休みをだらだら過ごしてしまいがちになるので、何とか学校と同じような習慣を続けたいと毎年思うのですが、なかなか難しいところです。親が仕事で休暇を数日取って子供たちを連れてどこかに行く、というのがよくある習慣で、我が家もさっそく数週間前、お隣の州テネシーに行って来ました。天気が悪かったので外で遊べず残念でしたが、それなりに家族で楽しみました。来月はベンソン

家の本家があるインディアナ州にいく予定です。

ベンソン家の子供は泳ぐのが大好き（ドミニクを知っている方はご存知でしょう）なので、旅行をしていない時はひたすらプールです。家から歩いて行けるところにコミュニティ共同のプールがあるので、そこへ行くか、または車で20分の遊園地にウォーターパークがあるのでそこに行きます。水の滑り台やら波が来るプールなどあり、1日いても飽きません。でも、なぜか今年は雨が降っていて、例年より泳げていないところです。

ただ雨が降っても何とか体を動かしたい子供たちなので、トランポリンパークに行ってジャンプをすることも多々あります。ほんとアクティブな家族ですよ。

日本と違ってこっちでは宿題が夏休みは出ないので、どうしても遊ぶことが主になる休みですが、それでも家ではドリルをさせて頑張っています。8月までまだあるのでたくさん遊んで思い出を作りたいです。（文・写真 ベンソン塚崎陽子）



ダイナミックな遊園地。大人にも子どもにも大人気です！

館長の今月の一言

今回は、LEDの電球・LED照明の特徴を書きます。 電気の話 No.2

この頃LED照明器具を販売されています。特徴・メリットを知っておきましょう。

《メリット》

- 寿命が長い(白熱電球の約 40 倍、蛍光灯の約 4 倍で 4 万時間の長寿命)
- 消費電力が少ない(白熱電球と比べて約 6 分の 1、蛍光灯の 2 分の 1)
- 発熱量が少ない(光源がほとんど持たない)
- 紫外線の放出が少ないので、虫がほとんど寄ってこない(紫外線に集まる)



《デメリット》

- 器具が高価である
- 雷(サージ電圧)に弱い
(サージ対応フーラーもあります)
- 長期的な高温に弱い

※電球交換などは販売店、電気工事屋さん
に確認してね！



次は

～つぬちゃんのこんなのやりましたコーナー～



8月30日。学校支援事業として旭小学校2年生の八戸川水辺教室を行いました。昨年までは、都川公民館の担当事業でしたが、統合小学校となったため各地区が小学校と交流できるように事業の分担を見直したものです。八戸川漁協和田支部の方には事前に釣り竿などの道具のお世話や、川の草刈りなどを行っていただきました。当日は、榎本組合長から八戸川に住む生き物の話や川に入る時の注意点などを聞いた後、川に入り、生き物を探したり、漁協組合員の方に教わりながら魚釣りをしました。釣りの成果も上々でいつもは静かな戸川の山あいには児童の歓声がにぎやかに響いていました。お世話になった地域の皆様大変有難うございました。今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。



あ と が き

10月5日。旭小学校6年生が「旭の未来を考えよう！」をテーマに地域で長年活動に取り組んでおられる方から状況や思いを聞くという授業を参観しました。和田地区からは、八戸川漁協の榎本組合長に協力いただき、漁協の生い立ちや活動、関わっている方たちの思いなどを聞きました。6年生もいろいろ質問をして熱心に取り組んでいました。榎本組合長の力のこもった話を聞き「旭の未来」は子供たちだけでなくみんなが一緒に考えていかなければならないことだなあと感じて帰りました。(美)